警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県伊勢原警察署協議会
日時	○
場所	神奈川県伊勢原警察署1階第一会議室
<i>500</i> [7]	1 警察署協議会側
	1
出席者	云及
	安貞 不行 L X 、
	²
	看夜 俺 英 、
	計11人 警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	1 諮問 「基本数字字の方式との)」(今和で左フロへ業)
	「若手警察官の育成について」(令和6年7月会議)
	2 答申 (1) 世で数字字の本書はまりまけるよう
	(1) 若手警察官の育成は先輩の責任である。
	幹部や先輩警察官が責任を持って後輩に背中で教える。
	(2) O J T担当を付け、教育していく。
	(3) 数多くの経験を積ませるため、忙しい交番に短いスパンで一時的な配置換えを行う。
	3 措置結果 (1) 仕事がまままままままままま
	(1) 先輩が若手を同行指導し、実戦経験を積ませた。
送 中亚片	また、交番勤務の若手警察官をパトカーに乗車させるなどして、幅広い知識や経験の習
議事要旨	得を図った。 (2) 職質指導員を2人から3人に増員し、指導体制を強化した。
	(2)
	また、指導記録表を作成し、指導力断を確立した。 (3) 検索ツールを開設し、若手警察官が事前学習に活用できる環境を整備した。
	(3) 機系ノールを開設し、石子書祭官が事前子首に石用できる環境を整備した。 (4) 地域課長が若手警察官と面接を実施し、要望・意見等を聴取し、改善を図った。
	協議(フリーディスカッション)
	議 題
	するの言宗有 m 職去所 催力伝に ういて
	1 開催回数は3回(2・6・10月)
	2 諮問は年度内1回
	他2回は視察やディスカッション等を実施
	3 業務報告は不可欠なので、各課実施してほしい
	などの意見が出された。
	なこの思光が出された。 今後警察側の意見を加味し、会長・副会長と検討し、運営方法を構築していくこととなった。
	業務説明

令和6年7月から10月の業務推進結果について説明を行った。